

空間トランスクリプトミクスが解き明かす 神経回路形成 — 概念から応用へ

Unraveling Neural Circuit Formation with Spatial Transcriptomics: From Concept to Application

本ランチョンセミナーでは、「脳はどのようにして“種らしさ”を獲得するのか？」という問いに、空間トランスクリプトミクスから迫ります。郷康広先生には、空間トランスクリプトミクスの定義と基本概念を整理いただき、大規模・高次元データを神経機能理解へつなげる情報科学的な解析の枠組みをご講演いただきます。続いて下郡智美先生からは、脳発達過程における細胞集団の空間配置と分子状態を高解像度で捉え、霊長類特異的な神経回路形成を駆動する分子機構を具体的な解析事例とともにご紹介いただきます。さらにVizgenが最新の応用研究事例を紹介します。概念から応用まで一貫した流れで次世代の神経科学研究の可能性を議論します。

日時 大会2日目

2026年7月31日(金)
12:00 ~ 12:50 (整理券制)

会場

神戸国際会議場 5階 / 第7会場 502

事前予約申込み

6月30日(火)までに事前(早期・後期)
参加登録をされている方
※詳しくは裏面をご覧ください。

事前予約はこちら



プログラム

座長 磯村 宜和 先生 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 細胞生理学分野

空間トランスクリプトミクスの現在地と将来展望

日本語 / Japanese

～大規模・高次元データから神経機能を理解するための情報解析技術～

Spatial Transcriptomics: Current Advances and Future Perspectives
— Computational Approaches to Understanding Neural Function from Large-Scale, High-Dimensional Data —

郷 康広 先生

兵庫県立大学法人兵庫県立大学大学院 情報科学研究科 認知生命情報科学研究室

講演
1

「脳はどのように“種らしさ”を獲得するのか？

日本語 / Japanese

— 空間トランスクリプトミクスが解き明かす分子機構」

How Does the Brain Acquire Species-Specific Identity?
— Molecular Mechanisms Revealed by Spatial Transcriptomics

下郡 智美 先生

国立研究開発法人理化学研究所 脳神経科学研究センター 脳発達分子メカニズム研究チーム

講演
2

MERSCOPE Ultraプラットフォームを用いた

英語 / English

脳の空間プロファイリングによる、神経疾患メカニズムのより深い理解

Spatial profiling of the brain on the MERSCOPE Ultra Platform for deeper insights into
Neurological Disease Mechanisms

Thaddaeus Teo

Vizgen, Inc.

講演
3

事前予約申込み

Online reservation for Luncheon Seminar



<https://neuro2026.jnss.org/luncheon-seminar.html>

6月30日(火)までに事前(早期・後期)参加登録をされている方は、ランチョンセミナー整理券のオンライン予約(抽選)が可能です。

※「アカデミア1DAYパス」と7月1日(火)からの「当日登録」で参加登録をいただいた方は事前抽選の対象外となるそうです。

予約受付期間

7月2日(木) 10:00 ~ 8日(水) 12:00 正午JST

事前予約に関するお問い合わせ：NEURO2026事務局 協賛担当

E-mail: e_neuro2026@aeplan.co.jp

当日の整理券配布

ランチョンセミナーデスク

- 受付時間：7月31日(金) 7:30 ~ 10:30
 - 設置場所：神戸国際展示場 1号館2F 2F展示室A 参加者受付付近
- ※ 予定枚数に達し次第、配布を終了。

vizgen

<https://vizgen.com/>

プライムテック株式会社

東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル2F marketing@primetech.co.jp